



すずしろ 22 2018 5 月報

発行責任者 合津秀雄
080 1351 4860

すずしろは大根 それは大地の豊かな恵の象徴 22 世紀につなげる農のあり方を 共に考える会

『 援 農 』 活 動 状 況

さわやかな五月の風が 畑にふきはじめました。野菜がみどりの色を
ましてきています。梅雨時前の 一年で一番すごしやすい時 農作業に
最適のとき といえましょうか。援農 ありがとうございます。

4 月 の 援 農 状 況

援 農 時 間	1289 時間	[昨年同月 1318 時間]
受 入 農 家	16 軒	[18 軒]
参 加 会 員	46 人	[47 人]



長いながい 畝で

援農体験記

「社会の迷惑 v s 農家仕事の喜び」

南大沢 北尾 力

昨年 65 歳を迎え仕事もリタイヤし、この 1 月より晴れて自由の身?になりました。でも、暇だから
といってぶらぶらしていたら、家族の迷惑、地域の迷惑、そして社会の迷惑になること間違いなし!

そこで、以前より挑戦したいと思っていた農家仕事を始める事にしました。ところが、私には畑はない、
鍬はない、植える種もなければ、育て方もわからない、手も足も出ません。どうしたものかと悩んでいる
ところに、救いの手。地域ボランティア仲間の M さんより援農のお話を聞き、また何と、友人の青山
さんがすずしろの役員をしていることを知って、早手を上げました。



あとは順調、勝澤農園のシイタケ栽培のお手伝い、秋間農園の除草作業を行いました。ところが、
日頃テニス等で体を動かすことには慣れているはずでしたが、作業の翌日は筋肉痛。
特に除草作業後の 1 週間は、ロボット歩きで「怪しげなおっさん」になるほど。
お手伝いを始めて僅か数回で、農家仕事の厳しさを思い知ることになりました。
だからといって、「社会の迷惑」に戻るわけには行きません。引き続き頑張って
農家仕事の厳しさだけでなく、収穫の喜びを味わって行きたいと思っています。
ご一緒になる機会もあるかと思ひます。ご指導をよろしくお願ひいたします。

農園だより

たんぽぽファームで過ごす時間

台 冊 笠原 三知子

たんぽぽファームに畑を借りてもうすぐ 1 年になります。

昨年はミニトマトやきゅうり等夏野菜をはじめとして、ナスやかぼちゃ、秋には里芋やさつまいもとど
れも豊作でした。私たちがしたことといえば植えただけ(!) であとは時間がある時に周りの雑草を抜く
くらい。特別な世話をした訳ではないのに、きちんと実を結び恵みを分け与えてくれる作物のたくましさ、
そしてその美味しさに驚きと感激の連続でした。

家族三人で赴く事が多いのですが、八歳の娘は進んで作業を手伝ってくれることはあまり無く... ですが
作業をしている私たちの傍らで野草や虫を探したり、可憐な野の花でブーケを作ったりして楽しんでいる
様子を見ると、彼女なりに豊かな時間を過ごしているのかな、と思ったりもしています。

住まいはマンション暮らしなので、土に触れ風に吹かれる時間は小さな庭が持てたような気持ちにもな
れます。他の方の畑を眺めさせてもらうのも楽しみの 1 つです。雑草がほとんど見つからないほどきちん
と整えられた畑、里山のミニチュアのように野菜や花が共生している畑、工夫されて組まれた支柱など
など、つくられている方の思いや個性が表れている様子が驚いたり思わず顔が
ほころんだり。そんなふうに畑で過ごすうちに、心が緩んでいくのを感じます。
知識もないまま始め、まだまだおぼつかない畑仕事ですが、自然と共に生きている
ことを実感できるひと時をこれからも大切にしていきたいと思っています。



恒例の たけのこ掘り

今年も 寺田町の竹林でたけのこ掘りのイベントを 開催しました。

— 4/15 4/21 4/28 4/29
5/3 5/5 5/7 の 計7回 —

そのうち 2回は 雨のため 中止
総参加者は 90名 収穫総量は 200kg。

ゴールデンウィーク中もあってか何組かのご家族での参加をいただきました。生活クラブ地域協議会から ご協力と大勢の参加をいただきました。



農業の未来を考えるシンポジウム

4/21 八王子市役所食堂で 開催されました。すずしろ 22からの参加者も 8人ほどみうけられました。農業の使用について容認意見と消極的な考えとなかなか興味深い意見も交わされました。

ホタル観賞会 の おしらせ

初夏の河原に飛ぶホタルはいかがでしょうか。

— 裏高尾 小仏川沿いの流れに沿って生息するホタル —

新設の『梅の郷 会館』で くつろぎながら
小仏川の清流でのひとときを すごしてみませんか。

日時 6月23日(土) 16時~21時
場所 梅の郷 会館 JR 高尾駅よりバス 駐車場あり
会費 500円/人 詳細は 会報 6月版と一斉メールにて別途連絡



4 月度 定例理事会より

4月20日 東浅川保健福祉センター

- ① イベント保険の確認 51円/人・日 で 20人以上 という条件
- ② 「定款変更セミナー」 第52条の改定が必要となる 2月の通常総会に提出する
- ③ 援 農 状 況 3月実績 1426h 昨年比 ▲20h 参加援農会員も▲1人
- ④ 農園運営 加住地区 過日の大雨でプロジェクト区画が浸水 回復は困難
- ⑤ 農園運営 小比企地区 大雨の浸水対策実施中 i U字溝の泥さらい ii 溝の増設 iii 略
- ⑥ たけのこ掘り 開催 6日間の担当スタッフ と 注意・配慮事項の確認 等

事務局からの お知らせ

人 材 — 農家需要 と 市民意欲のマッチング

- (1) さわやかな季節 ♪ だれが風を みたでしょう ♪♪
5月となりました。梅雨前の さわやかな季節 を むかえました。
若葉・薫風そして夏の新緑へ。援農へのご参加 お待ちしています。
- (2) すずしろ農園の堆肥 「有機堆肥は 心を リッチにしてくれる」(農園会員)
4か所の農園では有機堆肥を提供しています。土壌改善面からも農園会員から好評です。
加住の農園では乗馬クラブから 小比企地区では近くの黒毛和牛牧場から入手しています。
- (3) 畑での作業 農家さんとの会話の中から
援農作業で ころころしてほしいこと ・畑の中では 通路以外は歩かないで(柔らかな土が固くなってしまふ) ・小型の農具 例えば 釜・はさみ等を 畑でなくさないよう万全の配慮を 等。以上